

令和4年度幼稚園学校評価（出雲市立湖陵幼稚園）

分野	評価項目	評価の着眼点	自己評価		学校関係者評価 評価（記述式）	評価結果を踏まえた今後の取り組み			
			達成及び取組状況	評価（点数式）					
教育課程・指導	①学年・学級経営	教職員は、教育目標の達成を目指した学級経営を行っているか。	保護者アンケート「子供は、幼稚園に行くのを楽しみにしている。」では、『そう思う82.1% だいたいそう思う17.9%』という高評価を得ている。また職員でも『十分とだいたいされているを合わせると100%』である。コロナ禍ではあるが、湖陵幼稚園の教育目標に沿った経営を行った成果と考える。今後は、学級の学期ごとの振り返りなど工夫し、学級の現状とめざす子供像を見据えた経営に心がけることが大切である。	4	<p>○コロナ禍ではあったが園児の様子をみる機会を設定していただき良かった。その時、子供たちが、自分なりのルールをつくり、楽しい中にも規律のある活動をしていたことが印象に残っている。</p> <p>○保護者の評価は高いが、職員評価が低い項目がある。全体的には良い評価を得ている。職員の共通理解に努力し、幼稚園の保育実践に自信をもって取り組んで欲しい。</p> <p>○新型コロナウイルス感染症の拡大防止ということで、行事や交流活動が中止になることが多くあった。また、保育の様子をみる機会が減ってきていた。今後は、安心安全な環境づくりに努め、交流を推進し、子供の様子をたくさんの方が見られるように積極的な対応に努めたがよい。</p> <p>○職員評価の経年変化をみると、年々評価が高くなってきているので努力の成果である。</p> <p>○園児数の減少は、湖陵地域にとっても大きな問題であり、地域として考えていくことが必要である。市長とのタウンミーティングでも、市長の考えを聞く予定になっている。</p> <p>○研究推進についての職員評価が高いことは、職員が資質の向上に向けて取り組んでいる証である。</p> <p>○湖陵町保幼小中連携教育推進では、今後は、中学生との交流も盛んにすることが望ましい。</p> <p>○子供の安全を確保する防犯上、園庭入口を含む範囲の防犯カメラの設置が望ましい。</p> <p>○園児の減少を防ぐためにも、長期休業中の預かり園児に対して、給食が提供できるよう今後も要望する必要がある。</p>	<p>○園長は、1年間のはじめや各学期のはじめに、経営方針等について理解を図っている。勤務時間が違う面はあるが、全職員が一堂に会した場を設定し、説明や協議をするように努力する。</p> <p>○担任は1年間・学期ごとの保育目当てを立て、学期末に振り返るとともに次学期の目当てを設定したものを管理職まで提出し、今後の保育への指導を得ている。</p> <p>今後は、この『学級経営記録』を学級に係わる支援員とも共有し、学級のめあてや指導・支援の在り方に更に共通理解を図り、学級の保育を進めるようにする。そのことにより、多くの職員の視点からの多面的な幼児理解ができ、その子なりのより細やかな支援ができるようになることと考える。</p>			
	②幼児理解	教職員は、一人一人の幼児の発達から課題を捉えて保育を行っているか。	保護者アンケート「教職員は一人一人の子供をよく理解し、子供の意欲や自信を引き出す保育を行っている」では『そう思う78.6% だいたいそう思う17.9% わからない3.6%』という高評価を得ている。また職員評価でも『十分75% だいたい25%』であり、日ごろからの子供一人一人の生活について記録し、職員間で共有し保育に努めた成果だと思う。今後も、生活記録を基にした【子供を語る会】を重視すると共に日々の職員間の情報共有を大切にしていきたい。	4					
	③特別支援教育	特別な支援を必要とする幼児の実態や課題を明確にし、計画的・組織的に指導を行っているか。	個別特別な支援を要する園児の保育にあたっては、専門機関や市の担当者との相談機会を増やしたり、保護者との共通理解を図ったりして実践してきた。その成果として子供一人一人は大きく成長し、学級集団の中で認められ、楽しく充実した生活を送っている。しかし、職員評価では『十分45% だいたい55%』である。将来を見越した幼稚園での役割ねらいについて職員間での共通理解がもう少し必要であった。今後は、学期始めと終わりには、保護者と職員、専門家との今後の保育についての共通理解を図る会を設け、情報を職員で共通理解できるように努めるなどとして、より計画的な保育に努める必要がある。	3					
	④人権・同和教育	教職員は、自らの人権感覚を磨き、幼児に人権意識の芽生えを培うように配慮しているか。	職員評価「教職員は幼児に人権意識の芽生えを培うように配慮している」では『十分58.3% だいたい41.7%』であるが、「組織的な取組や教職員一人一人の人権意識の高揚、資質の向上を図る」では『十分36.4% だいたい63.6%』であり、今後は、より計画的な研修を行いたい。その際、同和教育を全ての教育活動の基底に据え、男女の課題、認知症の研修など、一人の人間としての資質の向上を図りたい。	3					
	⑤行事	教職員は、行事を幼児の発達を促す機会と捉え、工夫、改善しているか。	保護者アンケート「幼稚園では、子供にとって豊かな体験ができる教育の場や活動が工夫されている」では『そう思う71.4% だいたい25.0% わからない3.6%』幼稚園では、行事や活動が工夫されている」では『そう思う78.6% だいたい21.4%』と、共に高評価を得ている。職員評価「教職員は、行事を幼児の発達を促す機会と捉え、工夫・改善している」では『十分66.7% だいたい33.3%』であり、活動・行事への子供なりのめあてをもたせるなど、意欲的に取り組めるよう努めた成果と考える。今後は、保護者やご家族、地域の皆さんにも子供の成長を実感して頂く機会を増やし、みんなで子供の成長を認める機会を増やしていきたい。また、湖陵幼稚園ならではの取組を増やしていくことも大切である。	4					
	⑥保幼小連携	近隣の小学校等との連携を密にし、なめらかな接続に努めているか。	職員評価「近隣の小学校等との連携を密にし、なめらかな接続に努めている」では『十分41.7% だいたい50.0% あまり8.3%』であり、湖陵小学校や近隣の保育園との交流活動がコロナ禍のため不十分だったためと考える。夏休み期間中の保・幼・小・中の研修会はコロナ禍のため中止となったが部会は開催した。湖陵教育に係わる職員の共通理解は図られたと思う。また、中学三年生の職場体験による交流はとても有意義であった。今後は、近所の交流場所(小学校の樹木園)や神西湖周辺での交流を増やしていきたい。	3					
家庭・地域との連携	⑦家庭・地域との連携	幼稚園と保護者、幼稚園と地域（未就園児等）との協力関係はできているか。	保護者アンケート「幼稚園と保護者、幼稚園と地域との協力関係ができ、子供に関する相談が気軽にできる雰囲気がある」では『そう思う75.0% だいたい21.4% あまり3.6%』であり、職員は『十分25% だいたい58.3% あまり16.7%』であった。保護者の「幼稚園からのお知らせ、学級の様子等、必要なことを分かりやすく伝えている」では『そう思う67.9% だいたい28.6% 思わない3.6%』であり、職員は『十分41.7% だいたい50.0% あまり8.3%』だった。保護者との毎日の情報交換や園の考えなどこまめな情報提供の必要性がある。コロナ禍であるが、地域としてできる限りの場や支援を提供して頂いたことは保育を行う上で大きな支えであった。未就園児の教室は幼稚園HPなどで紹介したが、参加者が少なく残念だった。今後は町内の行事とも見据えて開催していきたい。	3	<p>○家庭ではできない湖陵幼稚園ならではの特色ある行事・活動を</p> <p>①湖陵地域のよさを感じとる。</p> <p>②季節の移り変わりを感じとる。</p> <p>③地域の人のすばらしさを感じられる。</p> <p>④湖陵地域保幼小中の連携等の視点から見直し、『めざす子供像』の体現に向けて取り組みたい。</p>				
研修	⑧研究・研修	教職員一人一人が、園内外の研究・研修の機会を自己研鑽の場として受け止め、進んで研究・研修に取り組んでいるか。	職員評価では『十分27.3% だいたい72.7%』であり、保育についての「保育の様子を見合う会」での情報交換や他園での研究会の報告等により、新しい視点での見方や考え方などを伝え合っていた成果と考える。今後は、タブレット等のICTの活用により、日々の保育の様子を記録し、全職員で動画を見ながら、その時の保育のあり様について研鑽を深めることなど、研修の仕方を改善していくことも必要である。	3		<p>○保育園や小学校は近隣にあるので、神西湖周辺での保幼小交流、湖陵小学校学校樹木園等を活用した保幼小・幼小交流等、湖陵地域の子育てという視点で活発に行いたい。</p> <p>○中学校とは、職場体験等での交流を図りたい。</p> <p>そのために、保幼小中連携における部会等に積極的に参加したり、職員の夏季休業中等を活用した職場体験も行いたい。</p>			
組織運営	⑨園務	教職員は、他教職員と協働し、計画的に園務を遂行しているか。	職員評価では『十分58.3% だいたい25.0% あまりされていない16.7%』であり、教頭を中心とした保育等はできていたが、園長の途中交代等により計画的な園務の遂行という点ではもう少しであった。しかし、教頭が園長代理として1カ月間職務を代理し、園務の遂行に大きな支障がなかったことは良かった。	3			<p>○保護者との共通理解を図ることは大切である。日常の送迎時での会話(情報交換)を大切にしたり、たよりやHP等の内容は、今まで以上に保護者の立場になって表現したりできるよう心がけたい。信頼関係をより強化するためにも、早期の情報伝達、改善したことや結果等の報告など、こまめな意思疎通に努力する。</p> <p>○地域との連携では、園外活動での地域の人との出会いを大切にすることや、令和5年1月から「湖陵地域子育て支援連絡会」に参加させてもらうことになったが、次年度からは定期的に参加し、地域の情報を得たり、幼稚園の状況を伝達したりする場の一つとしたい。</p>		
安全管理・保健管理	⑩危機管理	園の危機管理及び幼児の安全や衛生の管理体制を全教職員が理解し、適切に対応に努めているか。	保護者アンケート「園の危機管理及び幼児の安全や衛生管理に向けて、日ごろから適切な対応がとられている」では『そう思う60.7% だいたい35.7% わからない3.6%』であり、職員では『十分されている66.7% だいたい8.3% あまりされていない25.0%』であった。大方の評価は得ているが、コロナ禍の中で、もっと安心・安全な保育や情報公開(保育公開も含め)のあり方等について配慮すべきだったと考える。	3				<p>○保育の様子を見合う会をさらに充実した会とする。</p> <p>○他園の保育の様子を参観する機会を増やす。</p> <p>○タブレット等のICTの活用により、日々の保育の様子を記録し、全職員で動画を見ながら、その時の保育のあり様について研鑽を深めることなど、研修の仕方を改善していくことも必要である。</p>	
教育環境整備	⑪園地・園舎・遊具等の施設・整備	園地・園舎・遊具等の施設・設備を定期的に点検し、必要な改善・管理を行っているか。	保護者アンケート「園の施設・設備は、子供が安全に生活できるように管理されている」では『そう思う57.1% だいたい35.7% あまり思わない3.6% わからない3.6%』であった。職員評価では『あまりされていないが1人(9.1%)』だった。保護者の協力を得て園庭整備は行えたが、定期的な安全点検は予定通りにできなかったことがあった。	3					<p>○他の職員と共同して園務(各自の役割)を行うには、園の目標・重点目標・保育年間計画等を一人一人が理解し、意欲を高めることが大切である。そのため、職員共通理解を図る場をつくり、各自の役割等の理解と振り返りを行い、保育への意欲を高めたい。</p> <p>○日々の職員同士による声かけを大切にしていきたい。</p>
					<p>○日常の見回り活動のほかに、定期的な安全点検の実施に努め、早期に危険箇所を発見修理するよう努める。また、園児による「あぶないな」と思うところを見つける活動も行いたい。</p>				

※自己評価の評価基準 4：十分達成している 3：概ね達成している 2：改善を要する部分がある 1：大いに改善を要する